



医療メモ 皮膚とマイクロバイオーーム 本庄市児玉郡医師会

「健康の為や風邪などひかない様に、腸の善玉菌を増やしましょう」このような言葉をコマーシャルなどで聞いた事はないでしょうか。これはマイクロバイオーームに関する研究が進んだことにより出てきた考え方になります。マイクロバイオーームとは腸管や皮膚などのある環境中に存在する個々の細菌では無く、そこに存在するすべての菌の集合体（細菌叢と言います）を意味します。ちなみに人には細菌だけでは無く真菌（カビ）やウイルスが関与しており、真菌に関してはマイコバイオーーム、ウイルスに関してはヴィロームと言います。

この研究により、腸や皮膚に元々住んでいるいろいろな種類の細菌（常在菌と言います）のうち、どの菌がどれくらいの割合を占めるのかが明らかになると共に、そのバランスが崩れるディスバイオーシスと言う現象が健康を害することにつながる事が判明しつつあります。

常在菌は皮膚で1cmあたり100万個の細菌の定着があり、成人で菌種は約40種類に及びます。腸管は100兆個以上の細菌が存在し糞便中1gあたり1000億～1兆個含まれ、菌種も約1000種類に及びます。

新生児の皮膚は経膈分娩では母親の膈の細菌叢に似、帝王切開では母親の皮膚の細菌叢に似る事から、無菌状態の胎児の出生時に母親の細菌叢を受け継ぐ形で新生児

の細菌叢が形成されます。それが思春期になり脂腺の発達に伴い、脂質を好む菌種の割合が増加したバランスに変化していくと考えられています。

皮膚の細菌叢バランスが崩れるディスバイオーシスは小児のアトピー性皮膚炎が悪化した時に皮疹部に起こり、黄色ブドウ球菌と言う菌が増加する事が明らかになっています。

ならば、抗生剤でその菌をやっつけてしまえばいいのではと思いますよね？しかし皮疹が悪化した結果として黄色ブドウ球菌が増えるのか、黄色ブドウ球菌が増えたからこそ皮疹が悪化するのかが正確には判明しておらず、アトピー性皮膚炎が悪化しただけでは黄色ブドウ球菌をターゲットにした抗生物質の投与は、抗生剤の効かない菌を作り出してしまう可能性や他の常在菌も無意味に抑えてしまう事から行われません。

現在、研究段階ではあるものの、プロバイオティクス療法と言って、ある種の皮膚の常在菌を移植し定着させ、その菌の力で選択的に黄色ブドウ球菌のみの抑制効果を示す報告も出てきており、将来には皮膚常在菌のバランスを保つような方法が、アトピーの治療として一般的になる時代が来るかもしれません。

休日・夜間の急病のときは…

●本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所 ☎23-3322

本庄市保健センター内で、内科系の比較的症状が軽く、入院の必要がない方の診療を行います。

※診療以外に関する問い合わせ・電話相談はご遠慮ください。

▶診療日 日曜・休日・年末年始（12/30～1/3）・平日木曜日夜間

▶診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時、午後7時～10時（平日木曜日夜間は午後8時～10時）

※健康保険証を持参してください。

※夜間の診療は午後9時45分までに受付をしてください。

●在宅当番医療機関 ▶診療時間 午前9時～正午

4月5日(日)	上武病院	小島5丁目	☎21-0111
4月12日(日)	関根内科外科医院	神川町新里	☎77-7667
4月19日(日)	はにぼんクリニック	東台4丁目	☎22-3596
4月26日(日)	鈴木外科病院	児玉町八幡山	☎72-1235
5月10日(日)	千田医院	美里町根木	☎76-0041

※在宅当番医は変更になる場合がありますので、電話でご確認のうえ、お出かけください。

●困ったときは電話相談を！

ほんじょう健康相談ダイヤル24（相談料・通話料無料）☎0120-122-885

健康・医療・出産・育児・介護などの相談、医療機関情報の提供を行います。（市内在住者が対象）

▶受付時間 24時間・年中無休

埼玉県救急電話相談（通話料利用者負担）☎#7119

救急医療相談に看護師が対応します。健康相談・育児相談には対応しません。（大人・小児共通）

※IP電話、ひかり電話、ダイヤル回線からは☎048-824-4199

▶受付時間 24時間・年中無休

下記の電話番号からも救急電話相談が利用できます。

○小児救急電話相談 #8000 又は☎048-833-7911

★119番は緊急時（火災やけが人など）の受付専門電話番号です。医療機関情報については、[児玉都市広域消防本部指令課☎24-1119](#)でご案内していますのでご利用ください。診療科目によっては県外や本庄市・児玉郡以外の病院をご案内する場合があります。

高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種を実施します

●対象

	年齢	生年月日
①	65歳	昭和30年4月2日生～昭和31年4月1日生
	70歳	昭和25年4月2日生～昭和26年4月1日生
	75歳	昭和20年4月2日生～昭和21年4月1日生
	80歳	昭和15年4月2日生～昭和16年4月1日生
②	85歳	昭和10年4月2日生～昭和11年4月1日生
	90歳	昭和5年4月2日生～昭和6年4月1日生
	95歳	大正14年4月2日生～大正15年4月1日生
	100歳	大正9年4月2日生～大正10年4月1日生
③	60～64歳	昭和31年4月2日生～昭和36年4月1日生の方のうち、心臓・じん臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に一定の障害を有する方

※既に肺炎球菌ワクチン(23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン)の接種を受けたことのある方(自費で接種した方も含む)は対象となりません。

●予診票について

①及び③の対象の方には、3月末に予診票を郵送しました。

②の対象の方で今までに一度も接種をしておらず、接種を希望する方は、健康推進課にご連絡ください。予診票等を郵送します。

※①及び③で既に接種をした方にも予診票が届く場合があります。

●接種期間 令和3年3月31日(木)まで

※①の対象の方は、接種期間内であれば、誕生日を迎える前でも接種できます。

※③の対象でこれから60歳を迎える方は、接種日に満60歳でないと受けられません。

※接種期間を過ぎた場合、又は2回目以降に接種した場合は全額自己負担となります。

※今年度接種しなかった場合、来年度以降は対象になりませんのでご注意ください。

●費用（自己負担金）2,000円

※生活保護世帯の方、中国残留邦人等支援受給者、東日本大震災で被災された方は無料です。

●接種回数 1回のみ

★健康推進課(保健センター内)☎24-2003

風しん抗体検査・予防接種を無料で実施しています

妊娠初期の女性が風しんに感染すると、赤ちゃんに難聴・心疾患・白内障等の先天性風しん症候群が起こる恐れがあります。風しんを予防するためには、予防接種が最も効果的です。公的な予防接種の機会がなかったため、特に感染リスクが高いとされる世代の男性を対象に、免疫の有無を調べる抗体検査と、予防接種を実施しています。

令和元年5月に、対象者には、抗体検査・予防接種のクーポン券を郵送しました。まだ抗体検査がお済みでない方は、内容を確認し、抗体検査を受けてください。検査の結果、抗体価が低い方は、予防接種を受けてください。

●対象

昭和37(1962)年4月2日～昭和54(1979)年4月1日の間に生まれた男性

●実施期間

令和4年3月31日(木)まで

●費用 無料

※本庄市国民健康保険に加入している男性で、市の特定健診を受診する方は、特定健診受診時に抗体検査を受けることができます。健診日にクーポン券をご持参ください(予約不要)。

★健康推進課(保健センター内)☎24-2003